

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-8_多様な主体による協働の推進

基本計画		事業番号	細事業名称
5-08-01	協働のまちづくりを推進する体制づくり	02435_01	公共施設愛護活動支援事業
5-08-01	協働のまちづくりを推進する体制づくり	02608_01	ボランティア活動推進事業
5-08-02	市民のまちづくり活動への支援	02500_01	花いっぱいのもちづくり事業
5-08-02	市民のまちづくり活動への支援	10429_02	新しい公民館創造プロジェクト事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	02435_01		
事業名(行目名称)		公共施設愛護活動支援事業費	細事業名	公共施設愛護活動支援事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	多様な主体による協働の推進			
	基本計画	協働のまちづくりを推進する体制づくり	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、団体、事業者		数値	4,740人		
	手段(どうやって)	積極的な制度の啓発を行い、公共施設愛護事業実施要綱に基づく合意書締結、活動支援を行っている。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	多くの市民が自発的に公共施設の清掃・美化活動に取組み、まちの美化が推進されるとともに、市民と行政が協働して公共施設の愛護に取り組むまちづくりを目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		681	754	754			
財源	県・国支出金	0	0	0	○需用費 732千円 ○備品購入費 22千円		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	681	754	754			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
活動参加者数		目標値	5000	5000	5025	5050	5050
		実績	4949	4706	4710	4711	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和5年度に入り、1団体が増加し、計110件(9件の休止中含む)となっている。引き続き公共施設の美化活動を推進していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
ボランティア清掃活動者への支援を継続するとともに、本制度や活動状況について広く周知を図ることで、参加者の更なる増加につなげていき、市民とともに快適で美しいまちづくりを進めていく。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年度は、団体の参加、活動辞退や休止があり、計111件(9件の休止中含む)となっている。引き続き公共施設の美化活動を推進していく必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	02608_01		
事業名(行目名称)		ボランティア活動推進事業費		細事業名	ボランティア活動推進事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	多様な主体による協働の推進			
	基本計画	協働のまちづくりを推進する体制づくり		担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	10,000人		
	手段(どうやって)	ボランティア活動に参加しやすく、また継続的な活動ができるように、ボランティアに関する情報の集約、発信を行うとともに、ボランティア活動にあかがねポイントを付与し、参加者のインセンティブやモチベーションの維持、強化を図る。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民の社会貢献活動の参加促進を図り、地域課題を自らの問題として主体的に行動し、解決していく社会の実現と人材の育成を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		641	1,413	1,413				
財源	県・国支出金	0	0	0	○報償費 32千円 ○旅費 12千円 ○需用費 171千円 ○役員費 122千円 ○使用料及び賃借料 576千円 ○負担金補助及び交付金 500千円			
	地方債		0	0				
	その他	308	430	430				
	一般財源	333	983	983				
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
付与ポイント数			目標値	2000000	2000000	500000	500000	200000
			実績	66200	29100	16800	54700	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや低い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、市民活動も活発化しているが、社協(新居浜市市民活動・ボランティアセンター)との協力体制が構築できていないため、今後の方向性について協議を行う必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
市民活動が活発に行われ、令和3年度の9月末時点と比較しても令和5年度の方が、実績値が高くなっている。今年度1年間の実績を踏まえて今後の方針を決定する必要があるため、令和5年度と同様、5000円×100人分の予算要求を行う方針である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
ホームページやSNS等を利用して、ボランティアポイント制度の周知を行った。引き続き、ボランティア活動に参加しやすく、また継続的な活動ができるように、ボランティア活動にあかがねポイントを付与し、参加者のインセンティブやモチベーションの維持、強化を図っていく。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	02500_01		
事業名(行目名称)		花いっぱいのもちづくり事業費	細事業名	花いっぱいのもちづくり事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	多様な主体による協働の推進			
	基本計画	市民のもちづくり活動への支援	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小学校区	数値	18校区			
	手段(どうやって)	自治会や老人会、小中学生などが、地域の主要な道路等にプランターを設置し、水やりや除草等を行い、適正に管理する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	花のある生活は、環境美化に寄与するなど、まちづくりの重要な要素である。花づくりを通して、やさしい心・おもてなしの心を育てるとともに、全市をあげて花いっぱいのもちづくりへの取り組みを進める。また、地域が力を合わせて取り組むことにより、地域の絆の強化を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		3,277	4,931	4,931		○需用費 1,134千円 ○役員費 84千円 ○負担金補助及び交付金 3,713千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0		0		
	その他	670	550	550			
	一般財源	2,607	4,381	4,381			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
実施校区		目標値	3	3	3	3	3
		実績	3	3	3	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
維持管理に係る地元住民の負担、人手不足、メンバーの高齢化等が課題である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
地元住民の負担軽減のため、駅前シンボルロードに散水栓を追加したいと考えている。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
日本郵便(株)との包括的連携協定や地域との交付金事業により、公共空間の美しい環境づくりを推進するとともに、地域住民の交流の促進が図ることができた。また、令和5年度から開始した企業版フラワーパートナー制度では、現在14事業所において花いっぱいの取組みを進めていたおり、今後においても制度の周知を図っていくこととしたい。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10429_02		
事業名(行目名称)		地域主導型公民館推進費	細事業名	新しい公民館創造プロジェクト事業			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	多様な主体による協働の推進			
	基本計画	市民のまちづくり活動への支援	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	新居浜市民		数値	114,886人(R5.3.31現在)		
	手 段 (どうやって)	地域ごとに実情・課題は様々であるため、“つどう(生活のなかで気軽に人々が集うことができる場)”、“まなぶ(自らの興味関心に基づいてまた社会の要請にこたえるために知識や技術を学ぶための場)”を事業の柱として、学びを活かして地域の課題解決を目指す。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の鈍化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。(社会教育法第20条)					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		7,445	8,175	8,175	○委託料 8,175千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	7,445	8,175	8,175			
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
各校区で実施した地域教育力向上プロジェクト推進事業への参加者数(人)		目標値	41120	40915	37965	37965	31710
		実績	16432	20516	19549	30529	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、事業への参加人数が増加してきている。引き続き感染対策を十分に行い、地域の課題解決につながる事業を展開していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
予算は現状維持とするが、社会の必要課題が解決できる地域力を社会教育により向上させるため、事業内容の充実を図り、多世代が集える事業や次世代が地域の課題解決に向けて参画できる事業を積極的に実施していく。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、コロナ禍以前に実施していた様々な事業を実施することができた。当該事業については、住民の声を反映しやすい利点を生かし、防災や健康分野、子ども向けの事業など、住民のニーズや時流にあった事業を展開していきたい。また、各公民館の事業内容について情報共有を図り、公民館同士の連携を深めるとともに、各種団体、学校、企業などと連携した取組みの実施についても推進していききたい。							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				